

期 間 入 札 の 公 告

令和 6年 4月10日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 平 早 稔 正

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 6年 5月10日 午前 8時30分から 令和 6年 5月17日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 6年 5月24日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 6年 6月14日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所民事部
特別売却 実施期間	令和 6年 5月27日 午前 9時00分から 令和 6年 5月28日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 株式会社商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 6年 4月10日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | 所 在 | 水戸市西原二丁目 |
| | 地 番 | 3733番3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 328.53平方メートル |
| 2 | 所 在 | 水戸市西原二丁目3733番地3 |
| | 家屋 番号 | 3733番の3 |
| | 種 類 | 店舗 |
| | 構 造 | 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 |
| | 床 面 積 | 114.04平方メートル |



物件明細書

令和 6年 2月20日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 片見光雄

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- 1 所 在 水戸市西原二丁目
地 番 3733番3
地 目 宅地
地 積 328.53平方メートル
- 2 所 在 水戸市西原二丁目3733番地3
家屋 番号 3733番の3
種 類 店舗
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 114.04平方メートル



令和 5年(ケ)第106号
令和 5年 9月13日受理
令和 5年10月25日提出
(評価人 佐野俊夫)

現況調査報告書

水戸地方裁判所

執行官 藤沢靖博

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | 所 在 | 水戸市西原二丁目 |
| | 地 番 | 3733番3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 328.53平方メートル |
| 2 | 所 在 | 水戸市西原二丁目3733番地3 |
| | 家屋 番号 | 3733番の3 |
| | 種 類 | 店舗 |
| | 構 造 | 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 |
| | 床 面 積 | 114.04平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(未実施)		
土地	物件1		
現況地目	■宅地(物件1) □雑種地(物件)		
形状	□公図のとおり □地積測量図のとおり □建物図面(各階平面図)のとおり ■土地建物位置関係図のとおり		
占有者及び占有状況	■土地所有者 □その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している □「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	■ない □ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項	1 駐車場部分等は舗装されている。		
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	■公簿上の記載とほぼ同一である □公簿上の記載と次の点異なる(□主たる建物 □附属建物) □種類: □構造: □床面積:		
物件目録にない附属建物	■ない 種類: □ある 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	■建物所有者 □その他の者 上記の者が本建物を 店舗(空き店舗) として使用している。 □「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	■ない □ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項	1 経年劣化が非常に進行している。保守管理の状態もやや劣る。東日本大震災と経年劣化の競合もある。(詳しくは評価書を参照してください。) 2 空き店舗ではあるが、一定程度の残置物がある。(商品についてはほとんどない。)		
執行官保管の仮処分	■ない □ある 地方裁判所 支部 年()第 号 保管開始日 年 月 日		
土地建物の位置関係	□建物図面(各階平面図)のとおり ■土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(2枚目)

(関係人の陳述等用)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
<input checked="" type="checkbox"/> 債権者 担当者	1 本年6月頃、本物件を債権者の使用人として訪問しましたが、営業はしている様子ではありませんでした。 2 本建物は仏壇・仏具を扱う店舗でした。 (令和5年9月14日の電話による陳述要旨)

(注) チェック項目中の調査結果は、「」の箇所の記載のとおり
(3枚目)

執行官の意見

- 1 本件各物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付した写真のとおりである。尚、本図はいずれも測量を經過せず、概測による概況（概略）を示すにとどまるため、実際の土地・建物や間取りと異なる場合がある。
- 2 本建物の占有状況については、現場の状況及び関係人の陳述を総合して判断した。なお、債務者兼所有者の法人には、特別代理人が選任されている。
- 3 本件の買受人（入札人）における留意点（リスク）は、以下のとおりである。
 - (1) 評価書にあるマイナス要素の表記が、リスクにあたる。特に屋根の傾き、歪みなどは大規模な修理になる。建物に関して、建替えも視野に入る。
 - (2) 通常の現況調査では土地のボーリング調査や地盤・地質調査を実施しないため、本件土地においても同調査は行っていない。よって土壌汚染や埋設物、地盤の異常の有無について本調査では保証できない。
 - (3) 本件建物内の調査は、短時間で概況（概略）を目視をして実施しているものであり、天井・内壁・床などの表面に限られる。よって建物の隠れた損傷・不具合等の有無については、(2)と同様に本調査では保証できない。設備の可動の可否についても同様である。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

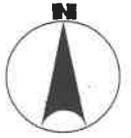
調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和5年9月13日	当庁執行官室	■市町村の固定資産税担当課に公用申請(調査嘱託)を実施する。(郵送、投函)
令和5年9月14日	当庁執行官室	■債権者(担当者)から電話による陳述を得る。
令和5年10月4日 10:50-11:35	物件所在地	■立入調査 ■占有調査 ■写真撮影 ■評価人と同行する。 ■評価人により各種図面が作成される。
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		
(特記事項)		
■ 令和5年10月 4日 目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。		
■ 令和5年10月 4日 目的物件は不在で施錠されていた。立会人 A を立ち会わせて建物内に立ち入った。調査後、立入り時と同様の状況に復して退去した。		
□ 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(5枚目)

土地建物位置関係図

事件番号	5年(ケ)106号
物件番号	1・2



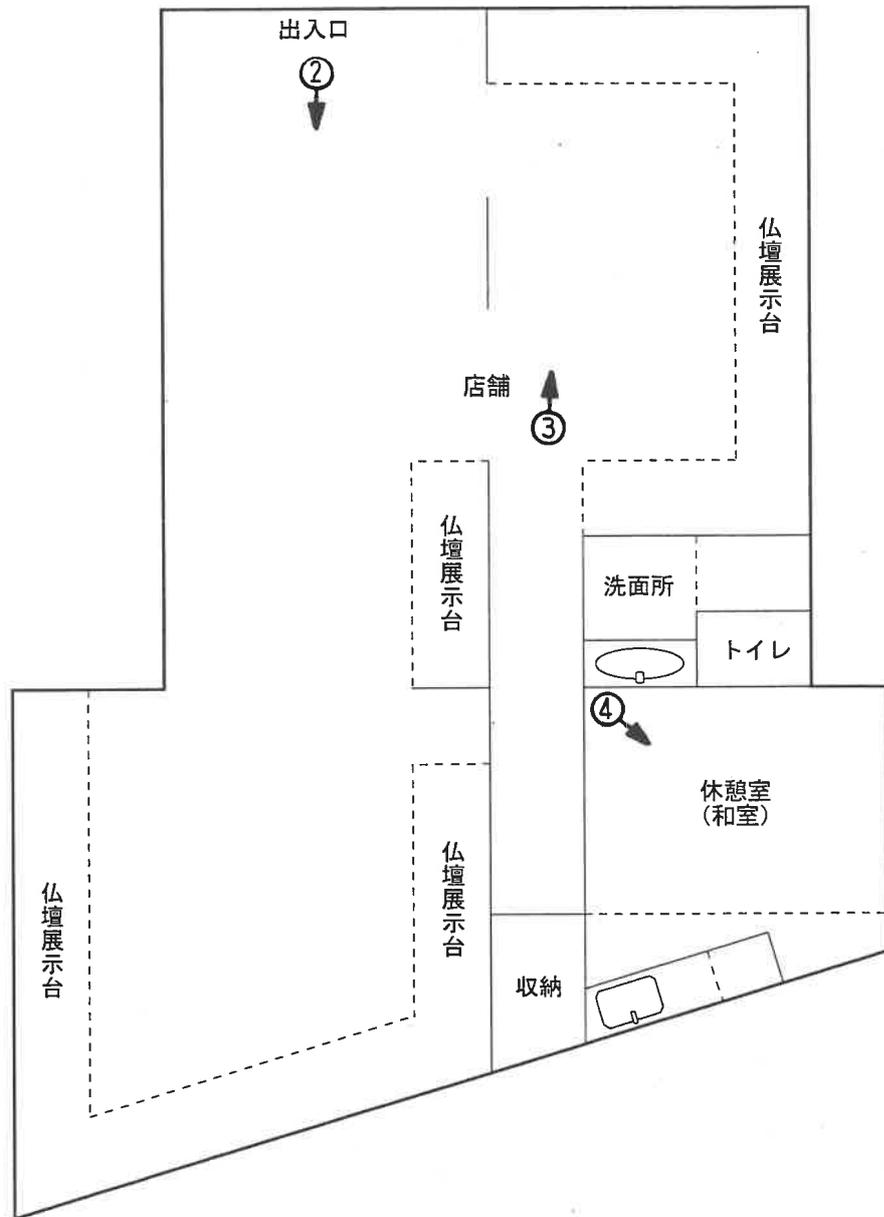
この図面は、

- ・現地調査等により作成したもので、実測図ではありません。
- ・物件の形状・配置の概要図であり、境界を確定するものではありません。

←○写真撮影位置方向

間取図

事件番号	5年(ケ)106号
物件番号	2



平家 床面積：114.04㎡

※間取図と現況が異なる場合は現況優先となります。

←○写真撮影位置方向



一部においてマスキングをしています。

No. 1



(8 枚目)

No. 2



No. 3



No. 4

(9 枚目)

令和 5年（ケ）第 106号
令和 5年 9月13日 受 命
令和 5年10月 4日 現地調査
令和 5年10月 4日 評 価
令和 5年10月25日 提 出

水戸地方裁判所 民事部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
佐野 俊夫

第1 評価額

一 括 価 格	
金 6, 9 4 0, 0 0 0 円	
内 訳 価 格	
物件1 (土地)	金 3, 1 2 0, 0 0 0 円
物件2 (建物)	金 3, 8 2 0, 0 0 0 円

- 1 一括価格は、物件1・2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地積	別紙物件目録記載のとおり	
2	家屋番号 種類 構造 床面積	別紙物件目録記載のとおり	

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	JR常磐線「赤塚」駅の北東方・道路距離約2.5km 最寄バス停「新原一丁目」の南方至近	
付近の状況	戸建住宅、集合住宅、併用住宅、店舗、事業所等が存する県道沿いの用途混在地域。	
主な公法上の規制等 （道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制）	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 第1種住居地域 指定60% 指定200% なし 第2種高度地区、水戸市立地適正化計画 水戸市景観計画、水戸市広告物条例
画地条件	<p>地積：328.53㎡（登記簿） 間口：約11.8m（法務局備付地積測量図及び現地概測による） 奥行：約25.6～28.7m（概測不可：上記地積測量図による） 形状：台形 地勢：概ね平坦 高低差：接面道路と概ね等高 接面道路との関係：中間画地 （※）境界不明な画地であることから、上記は各種図面・ネット上の航空写真・外周（間口）の把握による概況である。</p>	
接面道路の状況	<p>北側約11m舗装県道（建築基準法第42条第1項第1号道路） 建築基準法上の道路に係る記載は市建築指導課の陳述による。</p>	
土地の利用状況等	<p>物件1は物件2建物の敷地として利用されている。地表はアスファルトで覆われており、動産（物置）・廃材・廃タイヤ等が置かれていた。また下屋の一部が西側隣接地に、北東側に存する看板上部が接面県道に、それぞれ越境している可能性がある（上記については境界不明なため推定となる）。</p> <p>建物の配置等は別添土地建物位置関係図のとおり。</p>	
供給処理施設	<p>上水道：あり 都市ガス：不明（特記事項参照） 下水道：あり</p> <p>（注1）供給処理施設における「あり」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常のコストで敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「なし」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。</p> <p>（注2）本件土地内私設管等の埋設状況については不明である。</p> <p>（注3）実際の接続・利用の可否、それに伴う各種のコスト負担・手続き等については、関係各所における詳細調査を要する。</p>	

特 記 事 項	<p>①東部ガス(株)の回答(陳述)は次のとおり。県道に都市ガス本管の埋設はあるが本件土地への引込管はない。ただし、工事に必要な県道に係る占用許可等が得られれば引込は可能である。</p> <p>②評価人としての目視等調査には限界があることから、地中埋設物及び土壌汚染対策法に定められた特定有害物質の有無、地盤地質等の把握については、別途専門調査機関による調査を要する。よって、実際に存した場合(産業廃棄物等を含む)における負担額等をすべて担保できるか否かは不明である。</p> <p>(※) 地表がアスファルトで覆われ、かつ、各種動産が置かれていたことから本件土地は不明点が多い。</p>
---------	--

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区分	主である建物	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載) 経過年数 経済的残存耐用年数 建築年月日(登記記載) 経過年数 経済的残存耐用年数 建築年月日(登記記載) 経過年数 経済的残存耐用年数 各増築箇所の確認はできなかったが、建物全体として経済的残存耐用年数は満了していると判断した(市場価値が認められないため競売評価上の最低価額を計上した)。	昭和37年 4月11日新築 約61年 満了 昭和47年 3月15日増築 約51年 満了 昭和62年 9月28日増築 約36年 満了
仕様	構造 木造 屋根 亜鉛メッキ鋼板葺 外壁 サイディング、亜鉛メッキ鋼板 内壁 ビニールクロス等 天井 ビニールクロス、合板等 床 塩ビシート、畳、タイル等 設備 電気・給排水衛生設備等一式 (※1) 仕様は目視確認の範囲によるもので推定を含む。 (※2) 設備については動作確認をしていないため、使用可能か否かは確定できない。 (※3) 外構がある場合には再調達原価に算入。	
床面積（現況）	1階	114.04m ²
現況用途等	階層 地上1階建 現況用途 店舗 間取り 別添間取図のとおり	
品等	普通	
保守管理の状態	やや劣る（以下を目視で確認した） ・屋根の傾き、歪み ・内壁の亀裂	
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり。	

特 記 事 項

①建築計画概要書の記載内容（以下抜粋）

昭和47年2月10日 水第2352号

倉庫 増築

(※) 建物の配置・形状・用途等が現況と大きく異なるため、当該資料は参考にならなかった（築年も古く、現況に類似する概要書の備付はない／市建築指導課陳述）。

②本件建物は隣地付近に存しており、境界からの距離が保たれていない可能性が高い。

③目視調査の範囲による限りにおいては、保守管理状態は前記のとおり確認したが、評価人としての調査には限界があるため、建物に係るその他劣化損傷の把握については、別途専門調査機関による調査が必要である。

④昭和37年等に建築された店舗であり、アスベスト含有建築材料等の使用の可能性を否定できない。ただし、詳細については専門調査機関等による調査を行わないと確定できない。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。なお、市場価値が認められる土地の従物（造園等）がある場合、土地価格の一部を構成するものとして従物加算を行う（従物が土地と同一所有関係にあると明確に判断できる場合に限る）。

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ=オ
1	44,400	1.000	328.53	0.85	12,400,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 水戸5-10

$$\text{公示価格} \quad \text{時点修正} \quad \text{標準化補正} \quad \text{地域格差} \quad \text{標準画地価格}$$

$$43,300\text{円}/\text{㎡} \times 99.3/100 \times 100/100.0 \times 100/96.9 = 44,400\text{円}/\text{㎡}$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：必要なし。

◇地域格差：街路条件+2.0 環境条件▲5.0

イ 個別格差：必要なし

ウ 地積：登記記載の地積。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 物件2（建物）

目的物件の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床 面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ=エ
2	140,000	114.04	0.000	10,000

エ 市場価値はないと判断し、競売評価上の最低価額である10,000円を計上した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ	土地利用権等価格 (円) ア×イ=ウ
1	12,400,000	0.55 法定地上権	6,820,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を上記のように査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格 (円) (1①オ,1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ)イ	占有 減価 修正 ウ	市場 性修 正 エ	競売 市場 修正 オ	評価額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	12,400,000	-6,820,000	1.00	0.80	0.70	3,120,000
2	10,000	+6,820,000	1.00	0.80	0.70	3,820,000
一括価格（合計）						6,940,000

ウ 占有減価修正：必要ないと判断した。

エ 市場性修正：この種の不動産の市場性及び目的物件の個別的要因等を十分考慮したが、以下の理由により、なお、市場性が劣ると判断されるので所要の修正を行った。

- ・特記事項記載の市場性減退要因
- ・複合不動産一体としての市場流動性

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

(※) 本件評価は現地調査日において目視可能な部分を前提とし、かつ、公共機関の陳述・公開された資料・(陳述が得られた場合には)関係人陳述等に基づいたものである。よって、競売不動産特有の調査上の各種制約等により、把握が困難な流動的要因については、当該競売市場修正に包含されていることに留意されたい。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格 水戸5-10

所 在：水戸市松が丘2丁目4473番4
「松が丘2-3-19」

価 格：43,300円/㎡

位 置：JR常磐線「赤塚」駅約2.2km

価 格 時 点：令和5年1月1日

地 積：645㎡

供給処理施設：水道, 下水道, ガス

接 面 街 路：北側14m国道

用途指定等：市街化区域 近隣商業地域（建蔽率80%，容積率200%）

地域の概要：低層の店舗、事務所等が多い国道沿いの商業地域

第7 附属資料

- 1 物件目録
- 2 物件位置図
- 3 周辺見取図
- 4 法第14条第1項地図写
- 5 地積測量図写
- 6 建物図面写
- 7 土地建物位置関係図
- 8 間取図

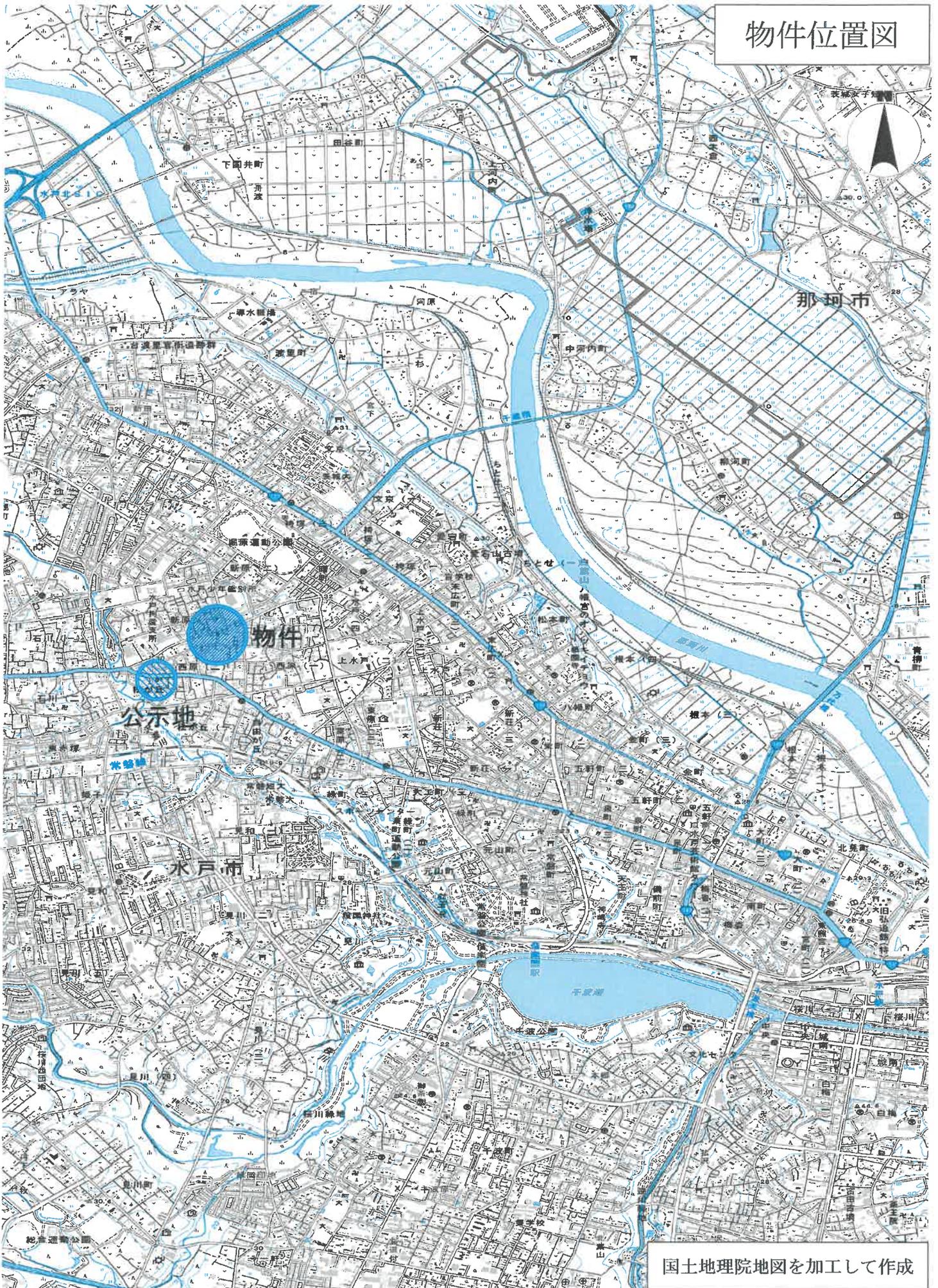
以 上

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | 所 在 | 水戸市西原二丁目 |
| | 地 番 | 3733番3 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 328.53平方メートル |
| 2 | 所 在 | 水戸市西原二丁目3733番地3 |
| | 家屋 番号 | 3733番の3 |
| | 種 類 | 店舗 |
| | 構 造 | 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 |
| | 床 面 積 | 114.04平方メートル |



物件位置図



国土地理院地図を加工して作成

周辺見取図



西原二丁目

国土地理院地図を加工して作成

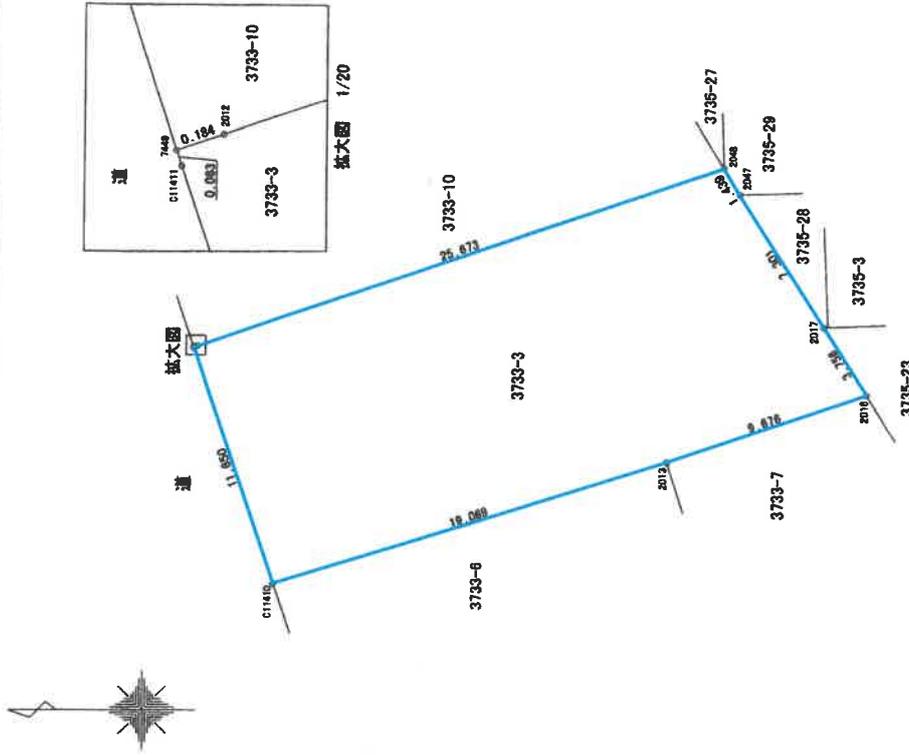
法第14条第1項地図写

縮尺 1 : 5 0 0



地積測量図

地番 3733-3
 土地の所在 水戸市西原二丁目



基本三角点等の名称及び座標値

符号	名称	X座標	Y座標
11412	法務局4級基準点	43586.740	54176.161
11413	法務局4級基準点	43575.772	54174.578

境界線の座標値並びに求積表

地番	境界線の種類等	X座標(Xm)	Y座標(Ym)	点間距離
C11410	旗	43589.345	54186.611	19.066
2013	ポイント	43581.133	54184.284	9.676
2016	コンクリート杭	43571.880	54197.403	3.756
2017	金属プレート	43573.840	54200.807	7.301
2047	金属プレート	43577.789	54206.805	1.439
2048	金属プレート	43578.555	54208.029	25.673
2012	コンクリート杭	43602.868	54199.724	0.184
7449	計算点	43603.042	54199.725	0.063
C11411	旗	43603.022	54198.665	11.650
C11410	旗	43599.345	54186.611	657.062844
求積方法				積面積
$2F = \sum (Y_n(X_{n+1} - X_{n-1}))$				面積(m ²)
				328.53
				328.53 m ²

測地系	世界測地系
座標系	区系
測量年月日	平成22年10月29日

縮尺 1/250

計画機関

(平成 22年 12月 17日作成)

作業機関

A 3版をA 4版に縮小

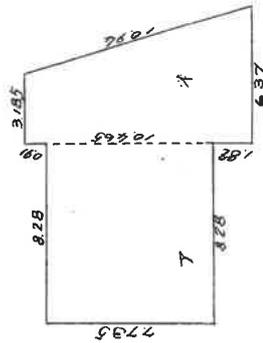
各階平面図

家屋番号 3733番3

建物の所在 水戸市西原2丁目3733番地3

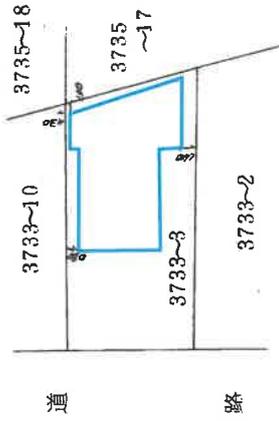
整理番号 081385

各階平面図



求積表

$$\begin{aligned}
 7 \quad & 7.735 \quad \times \quad 8.28 \quad = 64.0458000 \\
 1 \quad & (3.185 + 6.37) \times 1.0465 \div 2 = 49.965375 \\
 & \text{計} = 114.042375
 \end{aligned}$$



作製者

昭和 年 11月 16日 (制作)

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(茨城土地家屋調査士会 用紙)

2022.11.27

A3版をA4版に縮小

土地建物位置関係図

事件番号 5年(ケ)106号

物件番号 1・2

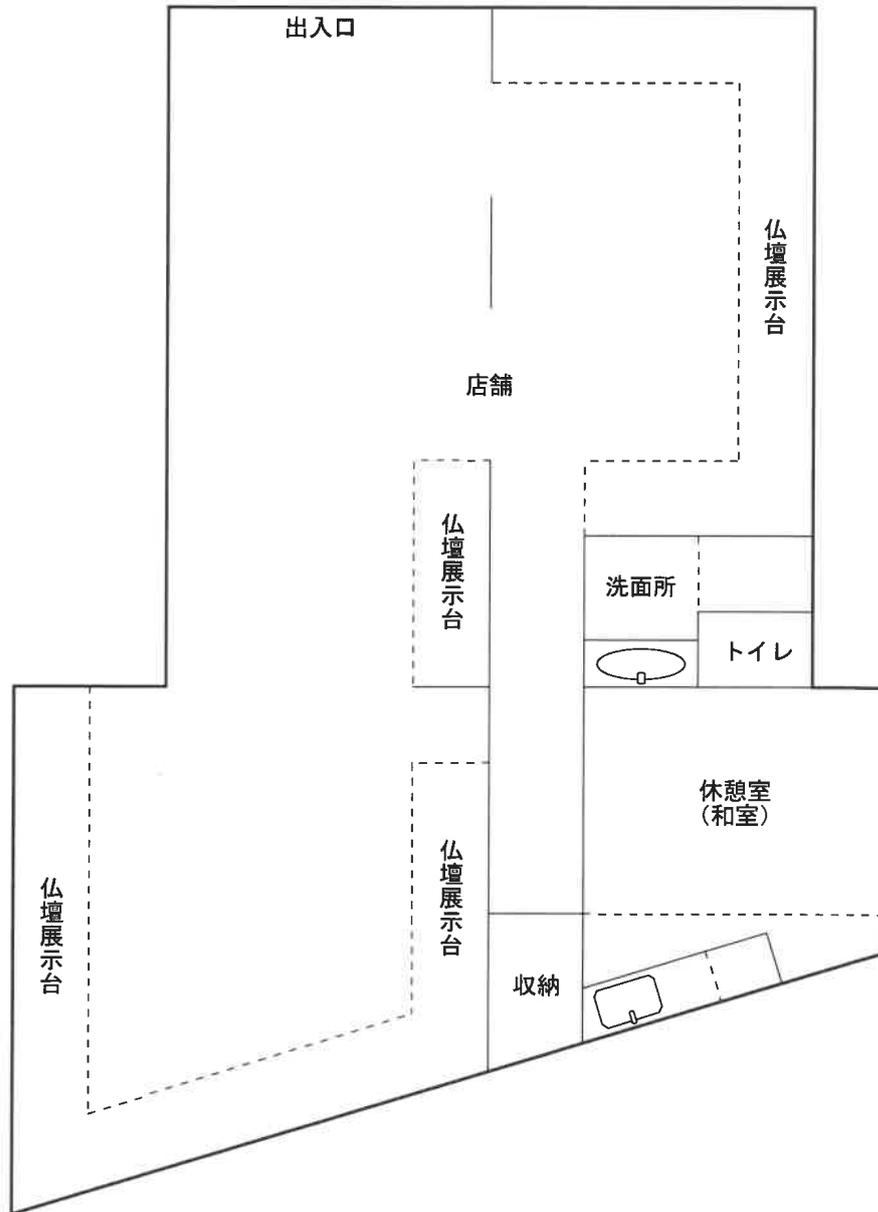


この図面は、

- ・現地調査等により作成したもので、実測図ではありません。
- ・物件の形状・配置の概要図であり、境界を確定するものではありません。

間取図

事件番号	5年(ケ)106号
物件番号	2



平家 床面積 : 114.04㎡

※間取図と現況が異なる場合は現況優先となります。